

愛しき女

ラ・バラン・ス

●83年度セザール賞 作品賞・監督賞・主演男優賞・主演女優賞・キヌト・ナタリー・バウ・アフリック・レオター・ル・シヤール・ベリ・サム・カルマン・ベルナール・フレ・モリス・ロネ・ジャン・ポール・コナル●スタッフ／監督・ロブ・スワイン・製作・ジョルジュ・シニール・アレクサンドル・ムタシニエ／撮影・ベルナール・シニエルマ／美術・エリック・ムラール／音楽・ローラン・ボム／レフィル・ムリアーヌ＋フィルムAの製作●カー／フランス映画 東映クラシックスフィルムAの配給



œ

la

GRAND VAINQUEUR DES "CESARS" 1983 : MEILLEUR ACTRICE DE L'ANNEE ■ MEILLEUR ACTEUR DE L'ANNEE ■ MEILLEUR FILM DE L'ANNEE ■ GEORGES DANCIGERS et ALEXANDRE MANOUCHKINE PRESENTENT ■ UN FILM ECRIT ET REALISE PAR BOB SWAIM ■ AVEC LA PARTICIPATION DE MAURICE RONE ■ LISTE ARTISTIQUE : NICOLE NATALIE BAYE / DEDE PHILIPPE LEOTARD / PALOUZI RICHARD BERT / TINTIN CHRISTOPHE MALAVOY / LE BELGE JEAN-PAUL CONNART / LE CAPITAINE BERNARD FREYD / PETROVIC TCHEKY KARYO / CARLINI ALBERT DRAY / SMOON FLORENT PAGNY / ARNAUD JEAN-DANIEL LAVAL / PICARD LUC ANTOINE DIQUERO / MASSINA MAURICE RONE ■ EQUIPE TECHNIQUE : REALISATEUR BOB SWAIM / SCENARIO ORIGINAL BOB SWAIM / DIALOGUE M. FABIANI et BOB SWAIM / CHEF DECORATEUR ERIC MOULARD / DIRECTEUR DE LA PHOTO BERNARD ZITZERMANN / CHEF COSTUMIERE CATHERINE MEURISSE / CHEF MAQUILLEUR PAUL LE MARINEL / CHEF INGENIEUR DU SON JEAN-CHARLES RUAUT / CHEF COIFFEUR ALAIN BERNARD / MUSIQUE ROLAND BOCCQUET / PAROLE FORIS BERGMAN / CASCADUR ROLAND NEUNEUTHER / DANIEL VERITE / CHEF MONTEUSE FRANÇOISE JAVET / CHEF MACHINISTE MARCEL GELLIER / CHEF MONTEUSE SON CATHERINE DUBEAU / SCRIPTES MANY BARTHOD / STAGIAIRE VINCENT MACHERAS / CASTING DIRECTOR DOMINIQUE BESNEHARD / CHAUFFEUR PRODUCTION GERARD KINDINIS / CHEF ELECTRICIEN JEAN-PIERRE BARONSKY / DIRECTEUR DE PRODUCTION RAYMOND LEBLANC / PRO-HUMAN PIERRE DAVOUST / REGISSEUR GENERAL MICHEL BERNIEDE / REGISSEUR ADJOINT DENISE CASSOTTI / ADMINISTRATEUR PRODUCTION JANINE RUAUT ■ LES FILMS ARIANE FILMS A2

男は愛した、そして畏におちた。

愛しきは女 ラ・バランス



83年度セザール賞・作品賞・監督賞
主演男優賞・主演女優賞受賞

●キャスト：ナタリー・バイ/フィリップ・レオタル
リシャール・ベリ/モーリス・ロネ

●スタッフ：監督/ボブ・スウェム

撮影/ベルナル・ジツェルマン/美術/エリック・ムラル

録音/ジャン＝シャルル・リュウー/音楽/ローラン・ボーケ

製作/レ・フィルム・アリアヌ

プロデューサー/ジョルジュ・ダンジエール、アレクサンドル・ムヌーシェキン

カラー作品/1983年度作品/フランス映画

配給/東映クラシック・フィルム

この映画の舞台になるパリ20区ベルヴィルはパリの場末の盛り場で、アラブ人やアフリカンといった移民もたくさんいて、ニューヨークでいえばさしずめ、ブロンクスやクイーンズといったところだろう。

ここの所轄の警察署の刑事たちはこれまたニューヨーク市警に負けず劣らず荒っぽい。バッヂをつけていなければどちらがギャングか、善良なる市民は判断に迷うところだ。

さて、この一帯を仕切るギャングの組織と対決する特捜班は組織内にスパイを飼っていた。仲間うちのスラングで、このイヌは「バランス」と呼ばれていた。つまり情報提供者である――。

久びさのフランス・アクション映画「愛しきは、女――ラ・バランス」は飼い慣れたバランスを組織に消された特捜班が、次なるバランスを否認なく、仕立てていくプロセスを小気味よいテンポで描いた快作だ。組織から足を洗いかけた男の弱味をトコトン責め、ウムをいわせずイヌに仕立てていくそのやり方の凄じさには思わずゾッとするものがあるが、このハードボイルド・タッチの演出の巧さの前にはそんな情感に浸ってはい

られないというのが、パリでの興行の成功した要因のようだ。

このバランス「デデ」と彼を慕う娼婦のニコルとの「純愛」を横糸に、見事、バランスとして潜入に成功したあとの組織との大対決を最大の見せ場とするエンタテインメントである。

フランスのギャング映画には暗黒映画という誇るべきジャンルがある。監督ではジャン＝ピエール・メルヴィル、俳優ではジャン・ギャバン、アラン・ドロンがその代表で、「いぬ」「仁義」「現金に手を出すな」etc.、掟に縛られた男たちの寡黙な世界を描いて独特のムードがあった。

「愛しきは、女――ラ・バランス」はこのフィルム・ノワールの伝統を踏まえ、しかし、登場人物はあくまでも現代ふうな描き方で、いわば「新・暗黒映画」とも呼ぶべきものだ。

監督はボブ・スウェム。アメリカ国籍のアメリカ人で、25才の時パリに渡り、国立映画学校を卒業して、主にフランスを中心に活躍してきた。CMやドキュメンタリーを手がけたのち数本の長篇（未輸入）を製作。これが4本目にあたる。ドン・シーゲルをなにより

も尊敬しているというこの一言で、「バランス」のタッチが分らうというものである。

出演はバランスのデデにフィリップ・レオタル。特異な風貌で、脇専門の感があったが、「巧い役者」が好き！のフランスの映画ファンでは人気が高い。タフな刑事のバルージには渋い二枚目のリシャール・ベリ。コメディ・フランセーズで活躍する本ものの演技派である。娼婦のニコルには、ナタリー・バイ。『いい女』の少なくなった映画女優のなかで、彼女は華のある女優だ。彼女のために脚本を書いたというほどに、バイのニコルは嵌まり役だ。とくに彼女のタンカの切るシーンを見よ！

撮影はベルナル・ジツェルマン、音楽はローラン・ボーケ。パンチのある主題歌のセンスが光る。

興行的に大成功したこの作品は、83年度のセザール賞の作品賞、監督賞（ボブ・スウェム）、主演男優賞（F・レオタル）、主演女優賞（ナタリー・バイ）の4賞受賞となって報われた。

質的にも中味も久びさのフランス映画のヒット作である。

（ビスタサイズ/1時間43分）



L A B A L A N C E

5月31日金曜ロードショー

特別鑑賞券¥1200発売中（当日¥1500均一の処）

シネマスクエア
とうきゅう

新宿ミラノ座横3F (232)9274

全自由席定員制 ● 入替制

※満席および上映中の入場はできません。

連日 12:00 2:20 4:40 7:00

●毎金・土曜はレイトショー実施/9:10より